

学生の「原子力離れ」議論 人材育成ネットワーク 年度報告会開催



将来の原子力界を支える人材確保に向けた産学官連携の取組「原子力人材育成ネットワーク」の年度報告会が四日、都内で開かれ、高等教育、国内人材国際化、初等中等教育、実務段階、海外人材育成、実務段階、海外人材育成「URINKINKI」を利用した学校教員向けの実験研修会の紹介があり、「問答で触れたい」ことを通じ、現場教育での実践に役立ててもらおう意義が述べられた。研修会の累積受講者数は、教職員だけでも約五千人に上っており、受講を通じて、

過剰な安心感や恐怖感の緩和、知識の体系化につながったなど、受講者にとって教育効果に実感があつたものと評価している。

報告会では、分科会からの発表後、学生の原子力離れを防ぐか」と題する討論が行われ、原産協会から、十一月に大阪府で一九九一年から実施している熱出力1Wの研究「URINKINKI」を利用した学校教員向けの実験研修会の紹介があり、「問答で触れたい」ことを通じ、現場教育での実践に役立ててもらおう意義が述べられた。研修会の累積受講者数は、教職員だけでも約五千人に上っており、受講を通じて、

この中で、初等中等教育分科会からは、近畿大学原子力研究所より、同所一九九一年から実施している熱出力1Wの研究「URINKINKI」を利用した学校教員向けの実験研修会の紹介があり、「問答で触れたい」ことを通じ、現場教育での実践に役立ててもらおう意義が述べられた。研修会の累積受講者数は、教職員だけでも約五千人に上っており、受講を通じて、

規制委員会では、十二月に、今後の住民帰還に向けて、主に避難指示区域が設定されている福島県内の十二市町村に、空間線量率を測定する機器を増設することとし、既設のものも含めて、リアルタイム線量測定システムは計五百六十七台、可搬型モニタリングポストは計二百四十八台となった。

測定結果については、規制委員会の放射線モニタリング情報ウェブサイト(http://radioactivity.nsr.go.jp/mapping)で見ることができ、

原子力規制委員会は一月十日より、福島第一発電所の周辺市町村に増設したリアルタイム線量測定システム三百三十六台と、可搬型モニタリング

「原子力産業セミナー」の来場学生数、参加企業数の動向について、また、福島工業高等専門学校から、国内三十三高専連携によるインターンシップなどを通じた基礎技術者育成事業について、それぞれ説明があった。

これを受けて、参加者からは、大学からも高専

「原子力産業セミナー」の来場学生数、参加企業数の動向について、また、福島工業高等専門学校から、国内三十三高専連携によるインターンシップなどを通じた基礎技術者育成事業について、それぞれ説明があった。

これを受けて、参加者からは、大学からも高専

問題点を指摘している。一方、米国では、一九七九年前からの安全問題や、TMI事故の影響による過度の規制強化で、稼働率が低下したばかりでなく、事業者の安全意識が低下した時期もあったが、その実態を反

国民の信頼も回復したと述べている。これらを踏まえ、提言では、以下の四つの「改革」を掲げた。

改革その一 産業界は必要な研究課題を推進するプロジェクトマネージメント組織を設立すること

改革その二 産業界は必要となる規制強化を推進するプロジェクトマネージメント組織を設立すること

改革その三 産業界は必要となる規制強化を推進するプロジェクトマネージメント組織を設立すること

改革その四 プラントメーカーは事業者と一体となつて応分の役割と責任を果たすこと

提言は、原子力OBの有志者が活動する「エネルギー問題に発言する会」、日本原子力学会シンポジウム、エネルギーネットワーク、エネルギー戦略研究会が中心となつて取りまとめ、経産省ワーキンググループでの議論に資するよう、十二月に資源エネルギー庁長官に提出されている。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

本提言は、福島発電所事故により失われた原子力界に対する国民の信頼を回復するには、産業界が自ら安全性を高めることが重要との認識から、同ワーキンググループでの検討課題と問題意識に

対策と設備信頼性に努めた結果、設備利用率八〇%代後半を達成、九〇年代には計画外停止が世界一少なくなつたものの、十分な安全性を確保している」との過信につながり、謙虚に海外に学ぶ姿勢が失われたなどと、

省し、産業界が自主的に安全向上を目指すため、原子力エネルギー協会(NEI)と原子力発電運転者協会(INPO)の二つの組織を設立し、科学的合理的規制を基本に、規制当局と事業者の良好な信頼関係が構築さ

なるべき司令塔的組織を設立すること

導的役割を果たす組織への発展、展開を期待。

改革その二 産業界は必要となる規制強化を推進するプロジェクトマネージメント組織を設立すること

改革その三 産業界は必要となる規制強化を推進するプロジェクトマネージメント組織を設立すること

改革その四 プラントメーカーは事業者と一体となつて応分の役割と責任を果たすこと

提言は、原子力OBの有志者が活動する「エネルギー問題に発言する会」、日本原子力学会シンポジウム、エネルギーネットワーク、エネルギー戦略研究会が中心となつて取りまとめ、経産省ワーキンググループでの議論に資するよう、十二月に資源エネルギー庁長官に提出されている。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

提言は、原子力OBの有志者が活動する「エネルギー問題に発言する会」、日本原子力学会シンポジウム、エネルギーネットワーク、エネルギー戦略研究会が中心となつて取りまとめ、経産省ワーキンググループでの議論に資するよう、十二月に資源エネルギー庁長官に提出されている。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

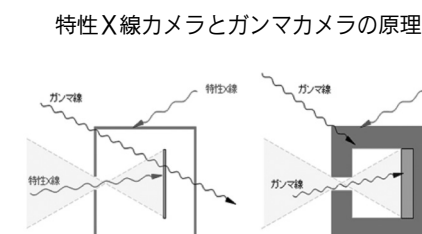
また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

特性X線でCs可視化を 放医研 安価、軽量なカメラ開発



放医研医学総合研究所は一月二十三日、放射性セシウムを、原子の種類に特有なエネルギーを持つ特性X線で可視化する

新しいカメラを開発したと発表した。従来のガンマ線検出型と異なり、重厚な遮蔽材が不要で、軽量化、コストダウンも

可能となり、除染作業や原子炉廃止措置での貢献が期待される。

効率的な除染作業や、原子炉廃止措置での汚染管理のため、放射性物質の存在を可視化して分布状況を把握するガンマカメラやコンプトンカメラがこれまで開発されてきたが、

検出素子を厚くして透過力の高いガンマ線を捉える一方で、視野以外の方向を遮る必要から、鉛などの材料を遮へい材として使用しなければなら

低コスト化を図つており、販売価格は、従来のガンマカメラやコンプトンカメラの千〜三千万円を大きく下回る五百万円以下になるものと見込まれている。

今回、放医研が開発した「特性X線カメラ」は、ガンマ線ではなく、放射性セシウムが放出する三十二keVの特性X線を検出することで可視化するもので、ガンマ線は透過させ、特性X線のみをピンホールカメラとして作用するよう設計されているのが特徴だ。試作機は、大きさが二百二十五mm×百七十五mm×二百四十二mm、重量が六・六kg(本体のみ)で、現在、

除染で使用されているガンマカメラよりも同程度以上に小型・軽量、しかも高価な半導体素子を使用せず、入手が容易で安価なシンチレータと光電子増倍管を用いることで

開発拠点や事務所を結ぶテレビ会議や電話会議システム、タッチパネル式の大規模スマートフォンやタブレット端末の導入も進んでいる。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

世界を結ぶ拠点開設

日本GE 新たなイノベーション創造へ



日本GE(II写真右端)らが開発拠点や事務所を結ぶテレビ会議や電話会議システム、タッチパネル式の大規模スマートフォンやタブレット端末の導入も進んでいる。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

外務省は、マルチ(国際機関)および二国間の国際協力(原子力安全等)の分野を担当する任期有限付き職員一名の臨時募集を行っている。

採用期間は一四年四月一日以降の直近日より九月三十日までの六か月間を予定しており、延長の可能性もある。

申し込みは、封筒の表に「任期付職員臨時募集」と朱書きし、外務省軍縮不拡散・科学部国際原子力協力室庶務班(〒100-0891東京都千代田区霞ヶ関二丁目二番一

号)まで、履歴書等の必要書類を二月二十四日必着として書留で送付する。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。

また同会場では、日本の優れた技術とGEの事業との協業マッチング実現の機会をさぐる「日本GE技術公募二〇一四」の募集開始も発表された。